

SON東京 ボランティア・オリエンテーションシート  
(プログラム)

2009年6月現在(09.06.05)

#12

プログラム名	フロアーホッケー
会場名	江東特別支援学校
主任コーチ	高橋 豪
マネージャー	塩入 あづみ, 柳川 佳代
参加アスリート数	登録者約 25人
年齢構成	小学生(約 5人)、中学生(約 2人)、高校生(約3人)、社会人(約15 人)
ボランティア数	約 25人 (うちファミリーが約 3人) 毎回約 5~10人参加
年齢構成	大学生以下(約 人)、社会人・主婦(約 22人)、シニア(約 2人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	フロアーホッケーでは仲間という意識をもって、アスリートとファミリー、ボランティアが一緒になって活動しています。通常のプログラムだけでなく、クリスマス会などお楽しみ会など行っています。
競技指導のやり方	練習内容は毎回主任コーチ、競技委員のコーチが考え、コーチ同士で確認をとりながら行います。 13:00-14:00は初心者向け、パス、ドリブル、シュートなど基本的な動きを指導します。 14:00-16:00は中級～上級者 チームプレイができるようになることを目指して指導します。
既存ボランティアの競技レベル	もともとフロアーホッケーはSOで開発されたスポーツです。エキスパートの競技者はいません。日本に紹介されたのが2002年です。東京でフロアーホッケープログラムが始まったのが2003年です。
既存ボランティアの参加頻度	自分たちができる範囲で参加しています。 毎回参加される方もいれば、数ヶ月に数回ぐらいの方もいます。 5~10名は毎回練習にいます。
希望するボランティアの経験レベル	経験は問いません。体が動かすことが好きであればどなたでもフロアホッケーは楽しめます。
ボランティアに希望するジョブ、メッセージ	アスリートと一緒に練習ができる、楽しめる人を募集します。 コーチたちはフロアーホッケーの楽しさにハマっています！一緒に楽しみましょう。
その他注意事項(服装など)	練習時は動きやすい服装で、体育館履きをお忘れなく。